

広報 えびな



市の木 つげ



市の花 さつき

毎月1日・15日発行

発行者・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代)/〒243-04

◇ 大字紹介 ◇

かみこうち
上河内
この地域は相模丘陵の台地下に泊う水田地帯。河内は耕地の意味で、同音の文字をあてた。



福祉のネットワーク

ボランテイアの輪を

「地域に根ざした福祉」を目指して、市では今年度から「地域福祉情報システム」に着手しました。福祉サービスを提供する人、地域でボランティア活動を行う人を正しく把握して、計画的効果的な福祉を地域に展開しようとするものです。このシステムの基礎資料としての「福祉意識調査」も行われており、市民の三割がボランティアに関心を持っていることが明らかにされています。

福祉はみんなの課題

これまでの福祉は、生活に困った人は生活保護、お年寄りや心身に障害を持った人は施設に収容することを中心に進められてきた。

会福祉でした。

そのため、社会福祉が「特定の人のため」と考えられてきました。しかし、子供の数の減少や平均寿命の延びたことなどによって、全体の人口に占める老人の割合

り合いも急速に増加しつつあります。その中には、寝たきりやボケ、ひとり暮らしの老人問題も増加し老人を抱える家庭に共通の不安を与えています。

老人自身もできるだけ「住み慣れた所」で、「家族と一緒に」といった要望を多くもってきており、保護・収容福祉から、在宅福祉・地域福祉へといった転換が必要とされています。このように、福祉は「特定の個人」から全市民的課題となりつつあります。

地域に根ざした福祉

地域社会の中に、老人、心身に障害を持った人、生活が困難な人など、いろいろな人が寄り合って生活している社会が「正常な社会」といわれています。

市や福祉事務所では、このような社会の実現を目指して、いろいろな施策を行っていますが、地域に根ざした福祉活動を発展していくために、市民や団体の活力が必要とされています。そのため、地

「赤ちゃんの愛は地球を救うから贈られた、歩行障害者を移送する「わかば号」に同乗。

今日の運転は、ボランティアの柳田孝之さん(中新田、69歳)。

わかば号が運を開始した五十六年からハンドルを握っている。

「私自身のボケ対策なんです」と語る柳田さんも、交通事故の後遺症で身体障害者手帳の所有者。

介護を受ける山田幸子さん(砂橋在住)は、下肢障害で車イスの生活。障害者というハンデ

イを克服した横顔は暗さを感じさせない。

車イスを押す井尾修子さん(国分、58歳)は、ご主人と協力して

山田さんを近道中に温泉治療へ移送する予定だ。

春の暖かい日差しを受け、野の道をゆく姿に、福祉の花が地域に咲きつづけるのを見た。左から柳田さん、井尾さん、山田さん

愛は地球を救う「わかば号」同乗記

「活動の基本は無理をしないことです。その人に合ったボランティアがあるはず。子供が小学校に入学と同時に手話スクールに参加した三橋廣子さん(大谷、37歳)は以

紙面を刷新

新しく「みんなの伝言板」コーナーも読まれる広報紙づくりのため、毎月15日発行の広報えびなに、新しく「みんなの伝言板」コーナーを設けたほか、本号から一部紙面の刷新をしました。これからもみなさんのご愛読をお願いします。

意識調査の結果

福祉意識調査の結果がまとまり福祉事務所で作成された。

このシステムでは、福祉サービス対象者の状況を正確に把握するとともにボランティアに福祉対象者についての情報を必要に応じて提供して、地域福祉を発展にしようとするものです。

無理をしないことです

手話通訳で活躍の三橋廣子さん



「活動の基本は無理をしないことです。その人に合ったボランティアがあるはず。子供が小学校に入学と同時に手話スクールに参加した三橋廣子さん(大谷、37歳)は以

来、八年間手話通訳として活躍中である。「障害を乗り越えて学ぼうとする姿勢に、健常な私は何をすべきなのか」と考えさせられたことも。活動の中から自分自身、得るものが多い」と語る。

現在、市で四人の手話通訳が活躍中だが、地域の手話講習会に力を入れている。小学生や地域の老人たちに、手話を理解して障害者を知ってもらうことが、理解を深めてもらう第一歩になるはずだ」と語る。

強い親子の

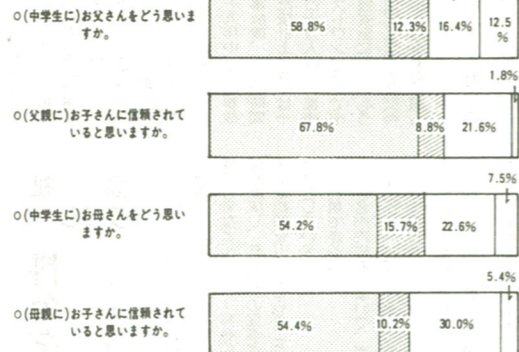
子育てに自信を持つて



三本松 久助さん

昭和四十九年から青少年指導員を務め、実践調査「深くかかわって」してきた市青少年指導員連絡協議会会長の三本松久助さん（今泉四丁目、46歳）に、実

親子の信頼関係



70%が信頼

親子の信頼関係については左のグラフのような結果が出ています。「友達(うまいい関係)を含めると約70%の中学生が親を信頼しています。高校生には「いいえ」の「期待」に同様の疑問があり、80%以上の人が信頼していると答えています。親子の信頼関係は高いです。

なお、高学年の調査では理由を尋ねたところ、回答では仕事に一生懸命だから「自分を信頼して欲しいから」が大々朗白を占めています。親子の信頼関係を築くポイントは、「この人にあるのではない」ということ、また「信頼されている」と答えた人は、母親より父親のほうが一割ほど多いようです。父親は信頼に対する「期待」や「信頼」が多分に含まれているのではないかと

三本松会長の「聞く」
「調査では、中学生が親の信頼関係を評価している割合は、父より母の方が低い。これは、親が子供に、自分自身に自信を持つて、子供を信頼しているか、という点で、親子の信頼関係は、親の信頼関係に比べて低い傾向にある。これは、親が子供に、自分自身に自信を持つて、子供を信頼しているか、という点で、親子の信頼関係は、親の信頼関係に比べて低い傾向にある。」

「調査では、中学生が親の信頼関係を評価している割合は、父より母の方が低い。これは、親が子供に、自分自身に自信を持つて、子供を信頼しているか、という点で、親子の信頼関係は、親の信頼関係に比べて低い傾向にある。」

「調査では、中学生が親の信頼関係を評価している割合は、父より母の方が低い。これは、親が子供に、自分自身に自信を持つて、子供を信頼しているか、という点で、親子の信頼関係は、親の信頼関係に比べて低い傾向にある。」

「調査では、中学生が親の信頼関係を評価している割合は、父より母の方が低い。これは、親が子供に、自分自身に自信を持つて、子供を信頼しているか、という点で、親子の信頼関係は、親の信頼関係に比べて低い傾向にある。」

「調査では、中学生が親の信頼関係を評価している割合は、父より母の方が低い。これは、親が子供に、自分自身に自信を持つて、子供を信頼しているか、という点で、親子の信頼関係は、親の信頼関係に比べて低い傾向にある。」

「調査では、中学生が親の信頼関係を評価している割合は、父より母の方が低い。これは、親が子供に、自分自身に自信を持つて、子供を信頼しているか、という点で、親子の信頼関係は、親の信頼関係に比べて低い傾向にある。」

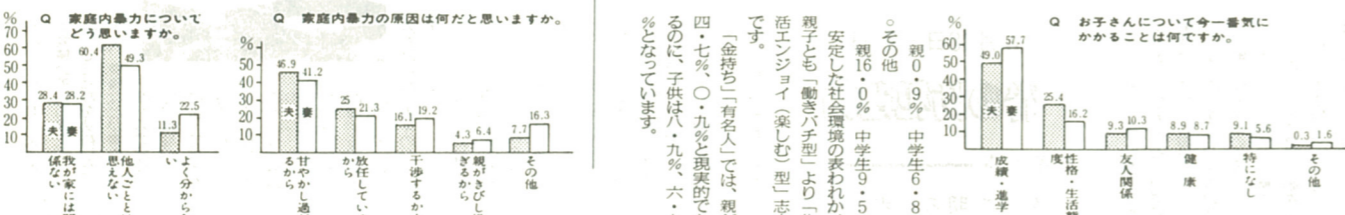
「調査では、中学生が親の信頼関係を評価している割合は、父より母の方が低い。これは、親が子供に、自分自身に自信を持つて、子供を信頼しているか、という点で、親子の信頼関係は、親の信頼関係に比べて低い傾向にある。」

「調査では、中学生が親の信頼関係を評価している割合は、父より母の方が低い。これは、親が子供に、自分自身に自信を持つて、子供を信頼しているか、という点で、親子の信頼関係は、親の信頼関係に比べて低い傾向にある。」

学業が一位



親にとっては、やはり成績が気にかかる



「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」「成績がよい(優)・普通(平)・悪い(劣)の割合はどれくらいですか。」

信頼関係!!

青少年とその親の実態調査まとまる

青少年指導員が5年間に



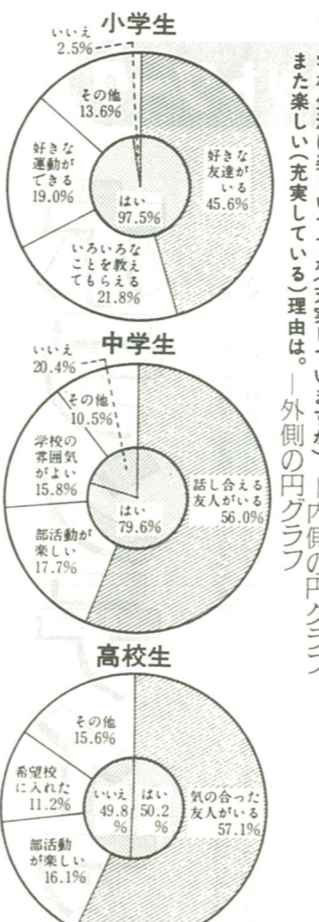
市青少年指導員連絡協議会(三本松久助会長、会員48人)は、昭和五十四年度から五十八年度にかけて、小学生、中学生、高校生、そして中学生を持つ父親、母親を対象とした実態調査を行いました。これは、これらはいくつかの選択肢を持つ質問形式のもので、今回、相互に関連する質問を比較対照して分析した結果がまとまりましたので、紹介します。なお、この結果は、市教育委員会が小冊子として今秋全世帯に配布します。

友人が大切



いろいろな行事を通じて親子のふれあいが...

「学校生活は楽しいですか。充実していますか。また楽しい(充実している)理由は、外側の円グラフ...」



「学校生活は楽しいですか。充実していますか。また楽しい(充実している)理由は、外側の円グラフ...」

「学校生活は楽しいですか。充実していますか。また楽しい(充実している)理由は、外側の円グラフ...」

「学校生活は楽しいですか。充実していますか。また楽しい(充実している)理由は、外側の円グラフ...」

「学校生活は楽しいですか。充実していますか。また楽しい(充実している)理由は、外側の円グラフ...」

「学校生活は楽しいですか。充実していますか。また楽しい(充実している)理由は、外側の円グラフ...」

青少年指導員と実態調査

青少年指導員(市町村の教育長が推薦した人を熟知者が委嘱)は、昭和三十九年に町地区少年指導員(嘱託)として発足し、昭和四十四年から現在の名称になりました。

主な仕事は、地域における青少年の育成で、関係団体のパトロール、指導員も兼ねています。今年十一月に中野の相模川河畔で行われる「なまはら大会」などのレクリエーションの企画実行もします。任期は一年で、現任市内には四十八人の方が活躍しています。

市青少年指導員連絡協議会(三本松久助会長)では、青少年の育成に役立てようとして、五十四年度から「実態調査」に取り組みしました。五十四年度(小学生、五十五年度(中学生、五十六年度(高校生、五十七年度(中学生)を持つ父親、五十八年度(中学生)を持つ母親の実態調査を行い、その結果をまとめて発表しています。今回はこれらの結果をまとめて発表しています。今回はこれらの結果をまとめて発表しています。今回はこれらの結果をまとめて発表しています。

5月の相談		日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	3	4	
		5	6	7	8	9	10	11	
		12	13	14	15	16	17	18	
		19	20	21	22	23	24	25	
		26	27	28	29	30	31		

時間は ボランティア9-16、法律10-16、数学9-11、登記・人権・行政13-16、結婚9-15、住宅・宅建建物9-12、年金10-15。
場所は、ボランティア・結婚が市立総合福祉会館、数学が市教育委員会指導室、その他は市民相談室。

ご協力を 商業統計調査

5月1日現在で、全国いっせいに商店を対象に商業統計調査が実施されます。この調査は商店数、従業員数、年間販売額などを調べ、業種別、規模別、市町村別に集計して、その販売活動の実態や商品の流れなどを明らかにすることを目的とし、3年ごとに行われています。調査員が4月下旬~5月上旬の間、調査に伺います。調査内容は厳重に秘密が守られますので、ありのままのご記入をお願いいたします。問い合わせは企画調整課(内315)。

資料紹介

文政4年の触書

石川権左衛門正武 著

1枚の古文書に先祖の生活が...

上郷地区を調査

市で資料調査を委託した資料調査員が、今月から上郷地区の調査に取りかかっています。みなさんのご協力をお願いします。また、上郷地区以外にも市外に調査員が家庭にあり、その調査員(内315)に連絡してください。

70ピックス

入門希望者も登場
ニチイ海老店で仏像彫刻展



会場には木彫りの地藏尊、仏頭、白衣(ひゃくい)観音など、いずれも精緻な作品が展示された。作品七十二点が展示され、信心深い来場者がおさい銭を供えていくかあった。

像彫刻展が開かれた。同展は、公民館講座で講師を務めている仏師の坂井浄雲さん(東柏ヶ谷五丁目、35歳)と、その門下生や公民館講座(仏彫)OB会「浄雲会」会員ら四十五人が作品を出品したものだ。

会場の片隅には、浄雲会の活動風景を写した写真や、観音様の彫り方の工程を示した見本も展示され、私も彫ってみた」とその場で入門を希望する来場者もいた。来場者は千五百人。おさい銭は市の社会福祉事に寄付される。



心豊かな老人像づくりを

先日、市福祉会館で「若いを考える」というテーマで講演が行われました。私も幸い参加する機会に恵まれ、ご立派な講師の方のお話に、有意義で充実したひとときを過ごすことができました。



サークルで陶芸を学ぶ老人

う問題に、深い関心をお持ちの様子が見られました。核家族化した今の社会では、老人に接する機会が少なく、老人と若者の世代間の格差は予想以上に大きいようで、そのせいか若者から見た老人観は決して良いイメージを与えていないように思われます。

本来、老人は尊敬されるべきはずの立場にあると思うのですが、色んな生のドラマを目の当たりにして、長い道のりを歩いてきたのですから経験も知識も豊かなはずで、

これからはますます進む高齢化社会に備え、心豊かな老人像を作り、若者とのミソをいかにして埋めていくか、老いに向かって歩を進めている私たちの背におかれた一の課題ではないかと思えます。

東柏ヶ谷二丁目 小山ミサオ

体力が基礎です

軟式野球教室開かれる



三月十日、海老名運動公園野球場で行われた軟式野球教室には、中学生や市内アマチュア野球チームの選手約五十人が参加し、講師



この横断旗は交通安全に役立てます

の長田幸徳さん(スポーツ解説者)から投・打の指導を受けた。「野球は何よりも体力、体力があつてこそ素晴らしいプレーが可能」と語る長田さんは、元々在ホエールズの選手として十六年の経歴を持ち、指導方法も初心者向きとはいえず、かなりハードなもの。グラウンドを中学生に混して

走る大人からは「プロの練習方法はきびしい」との声も。長田さんから欠点を指摘され、アドバイスを与えられた参加者からは「プレー時の熱い響きがよく分かった。次の試合が楽しみ」といった声も聞けた。



4歳から82歳まで、全員が7.5を

横断旗などを寄贈

県トラック協会海老名分会

今月一日、県トラック協会相模支部海老名分会(加藤文七会長)から市に横断旗六百を約三千三百本の寄贈があった。これは新入学児童の交通安全に役立てて欲しいと同分会が毎年実施しているもの。市では各小学校の交通安全教室や立上り指導などに利用させていたと予定。

全行程7.5キロを完歩

歩け歩け大会に70人参加

市民歩け歩け大会が三月二十四日に行われ、参加者七十八人が高麗山、浅間山を散策した。午前中は風も強く肌寒い天候であったが、午後には回復し汗ばむほど。湘南青年の家を午前十時に出発、高麗山、浅間山を尾根つたいに歩き、千畳敷で昼食。午後は高麗山公園を経て再び高麗山に登り午後三時に下山。参加者は八十歳から四歳までと年齢の幅は広いが、全行程7.5キロを全員が完歩した。午後のコースはきつかったが、運動不足の解消になった」との声も聞かれた。

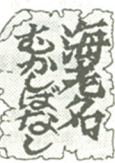
岡田の渡しとは、社家と対岸岡田間の相模川の船に支那の船のことであるが、今はない。なぜか県央相模川の渡しの名は、厚木の渡し・戸田の渡し・田村の渡し・四宮の渡しというように、いずれも右岸の地域名を冠して、社家の渡しも例外ではない。社家はたまたまに渡しと呼んでいた。

この渡しの起りはわからないが、天正年中(一五七三―一五九二)徳川家康が特に橋をかけたせいで渡つたというから、交通の要路としてこのころすでに開かれていたと思われる。

渡り場への道は、本郷のなんじやもんじやから市内に入り、百八畑(県道社家停車場線)をまっすぐ西へ向かい堤防を抜け、約七十軒西北方に進んで渡し場についていた。一の大山道であつた。移動し、車も高速の橋下あたりのごとでもあつた。大正十年ごろまでは岡田寄りの中洲があり、本流は社家側を流れていた。従つて渡し

の仕事は本支別別に両村で分担した。その後流のため川が一本にまとまり、社家側で渡しを受け持つようになった。当時川幅は百廿余り、水量は今の三倍もあつた。船は平田船といひ、長さ五間(約九丈)、幅五尺(約一丈五寸)、別駕船が一そう用

で「オオイ」であつた。大正の半ばごろは一日平均三十人位の利用客があつた。他に茅ヶ崎の兩湖の魚屋が十人程度毎朝渡り、目ざしを何ほが、渡し賃代わりに置いて行つた。一番にさわつたのは船分の日で、大山へ豆まきに行く人が幾瀬の深谷・吉岡方面からやつてきた。この頃の渡船料金は大人二銭(こも一銭)だつた。大正末期には堤防際居住の金子清三郎という人が一人で渡しを引き受けておられた。金子さんの家では今も船(いかり)と櫓(こ)が残



岡田(社家)の渡し

第11話

意されていた。船は岡田の領守様の前の道路を目標としていた。船頭の役は村中で当つた。輪番制で二人一組、これに夜番と昼番があつて交代して動めた。これを渡し番といひ、

昼番は朝行き、夜番は夕方弁当とすし、道具とを担いで行つた。飯は渡し場のそばの番小屋でとつた。番小屋は九尺二間(約二丈七寸)×約一丈八寸、屋根は板葺き、周りは板張り、寒い



社家から岡田の渡し跡を望む

前号「運座」の中で、次の誤りがありましたので訂正します。「俳句のことも発句と呼び」の「ま」を「を」に、また「透逸にはマツチ、小皿などを」の「透」を「秀」に訂正します。

……訂 正……

(岡田の池田武治さん著稿)